

訓令名	理由	要旨
奈良県教育委員会所属職員服務規程の一部を改正する訓令	<p>教育委員会所属職員の服務に関する申請、届出等の様式への職員、所屬長等の押印を廃止する等のため、所要の改正をしようとするものである。</p> <p>（第 8 条関係）</p> <p>1 出勤簿へのなつ印 出勤簿への「なつ印」を「記録」とし、自署による対応も可能とする。</p> <p>2 介護休暇等の届出 職員の事務負担軽減のため、介護休暇、介護時間及び要介護者等の介護等のための特別休暇を取得する際に提出する「医師の診断書等の証明書」を「要介護者の状態を明らかにする書類」に変更する。</p> <p>（第 9 条関係）</p> <p>3 服務に関する申請、届出等の様式改正 以下の様式への職員、所屬長、企画管理室長等の押印を廃止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 遅出勤務請求書（第 1 号様式） (2) 遅出勤務承認証（第 1 号様式の 2） (3) 遅出勤務承認証紛失届・再交付願（第 1 号様式の 3） (4) 養育状況等変更届（第 1 号様式の 4） (5) 出勤簿（第 1 号様式の 5） (6) 出勤状況報告書（第 2 号様式） (7) 超過勤務、夜間勤務及び休日勤務命令簿（第 4 号様式） (8) 週休日の振替命令簿（第 4 号様式の 2） (9) 超過勤務代休時間指定簿（第 4 号様式の 3） (10) 代休日指定簿（第 4 号様式の 4） 	

- (11) 深夜勤務・時間外勤務制限請求書（第4号様式の5）
- (12) 育児又は介護の状況変更届（第4号様式の6）
- (13) 年次有給休暇簿（第5号様式の1）
- (14) 特別休暇簿（第5号様式の2）
- (15) 介護休暇簿（第5号様式の3）
- (16) 介護時間簿（第5号様式の4）
- (17) 欠勤届（第6号様式）
- (18) 職務専念義務免除願（第7号様式）
- (19) 職務外業務従事許可願（第8号様式）
- (20) 事務引継書（第10号様式）
- (21) 職員証及び職員き章整理合帳（第16号様式）

4 施行期日

令和3年4月1日から施行する。
(改正附則関係)

教育委員会事務局

学校以外の教育機関

奈良県教育委員会所属職員服務規程（昭和三十一年一月奈良県教育委員会教育長訓令甲第一号）の一部を次のように改正し、令和三年四月一日から施行する。

令和三年 月 日

奈良県教育委員会教育長 吉田 育弘

第四条の見出し中「なつ印等」を「記録等」に改め、同条第一項ただし書中「なつ印しなければ」を「記録しなければ」に改める。

第八条の二第一項ただし書及び第二項ただし書中「記入し、当該命令を受領した旨の確認印を押さなければ」を「記入しなければ」に改める。

第九条第二項中「に係る医師の診断書」を「の状態を明らかにする書類」に、同条第四項中「に係る医師の診断書等の証明書」を「の状態を明らかにする書類」に、同条第八項中「の状態等申出書及び要介護者に係る医師の診断書等の証明書」を「との関係及び要介護者の状態を明らかにする書類」に改める。

第一号様式中「職・氏名

④」を「職・氏名

」に、「職・氏名 _____ ④」を「職・氏名 _____」
_____ に改める。

第一号様式の二中「企画管理課長

④」を「企画管理室長

」に改める。

第一号様式の三及び第一号様式の四の規定中「職・氏名

④」

を「職・氏名

」に改める。

第二号様式中「所属長

④」を「所属長

」に

改める。

第四号様式及び第四号様式の二の規定中「所属長の印」を「所属長の確認」に、「直接受監督責任者の印」を「直接監督責任者の確認」と、「従事者の印」を「従事者の確認」に改める。

第四号様式の二及び第四号様式の四の規定中「本人印」を「本人確認」に改める。

第四号様式の五中「職・氏名

④」を「職・氏名

_____ に改める。

第四号様式の大中「職・氏名_____印」を「職・氏名_____」に改める。

第五号機長のうち「所属長印」を「所属長確認」と、「届出印」を「届出確認」とする。

第五号様式の二中「所属長印」を「所属長確認」に、「願出印」を「願出確認」に改める。

被田印鑑又川印「※本人印」又「※本人確認」又「所属長の印」又「所属長の確認」又「記入し、又は押印する」又「記入する」又「※本人印又は代理願出人職氏名印」又「※本人確認又は代理願出人職氏名」^を。

據田中義和の回舟「※本人印又は代理願出人職氏名印」及「※本人確認又は代理願出人職氏名」は、「記入し、又は押印する」及「記入する」とある。

第六号様式、第七号様式及び第八号様式の規定中「職氏名」を「職氏名」に改める。

第十号卷中「前任者職氏名」印上卷「前任者職氏名」

」及「後任者職氏名」
| 舊印

第十六号様式中「受領印」を「受領確認」に改める。

奈良県教育委員会所属職員服務規程の一部改正（案）新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>（出席簿の記録等）</p> <p>第四条 職員は、定刻までに出勤し、自ら出勤時間を出退勤システムにより記録しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、備付の出勤簿（第一号様式の五）に自ら記録しなければならない。</p> <p>2 及び 3 略</p> <p>（超過勤務の命令等）</p> <p>第八条の二 職員は、超過勤務、夜間勤務及び休日勤務を命ぜられた場合には、その内容を確認のうえ、総務事務システムにその命令に係る所要事項を入力しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、超過勤務、夜間勤務及び休日勤務命令簿（第四号様式）にその命令に係る所要事項を記入しなければならない。</p> <p>2 職員は、週休日の振替を命ぜられた場合には、総務事務システムでその命令に係る所要事項を確認しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、週休日の振替命令簿（第四号様式の一）にその命令に係る所要事項を記入しなければならない。</p> <p>3 及び 4 略</p> <p>（休暇等の届出等）</p> <p>第九条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 職員は、勤務時間条例第十五条第一項に規定する介護休暇をとろうとするときは、介護休暇簿（第五号様式の三）に要介護者の状態を明らかにする書類を添付し、所属長に願い出て、その承認を受けなければならない。</p>	<p>（出席簿のなつ印等）</p> <p>第四条 職員は、定刻までに出勤し、自ら出勤時間を出退勤システムにより記録しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、備付の出勤簿（第一号様式の五）に自らなつ印しなければならない。</p> <p>2 及び 3 略</p> <p>（超過勤務の命令等）</p> <p>第八条の二 職員は、超過勤務、夜間勤務及び休日勤務を命ぜられた場合には、その内容を確認のうえ、総務事務システムにその命令に係る所要事項を入力しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、超過勤務、夜間勤務及び休日勤務命令簿（第四号様式）にその命令に係る所要事項を記入し、当該命令を受領した旨の確認印を押さなければならない。</p> <p>2 職員は、週休日の振替を命ぜられた場合には、総務事務システムでその命令に係る所要事項を確認しなければならない。ただし、教育長が定める職員にあつては、週休日の振替命令簿（第四号様式の一）にその命令に係る所要事項を記入し、当該命令を受領した旨の確認印を押さなければならない。</p> <p>3 及び 4 略</p> <p>（休暇等の届出等）</p> <p>第九条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 職員は、勤務時間条例第十五条第一項に規定する介護休暇をとろうとするときは、介護休暇簿（第五号様式の三）に要介護者に係る医師の診断書を添付し、所属長に願い出て、その承認を受けなければならない。</p>

改 正 案	現 行
4 職員は、勤務時間条例第十五条の一第一項に規定する介護時間をとろうとするときは、介護時間簿（第五号様式の四）に要介護者の状態を明らかにする書類を添付し所長に願い出て、その承認を受けなければならない。	4 職員は、勤務時間条例第十五条の一第一項に規定する介護時間をとろうとするときは、介護時間簿（第五号様式の四）に要介護者に係る医師の診断書等の証明書を添付し所長に願い出て、その承認を受けなければならない。
5 5 7 略 8 要介護者の介護その他の世話をを行うため特別休暇をとろうとするときは、要介護者との関係及び要介護者の状態を明らかにする書類を提出しなければならない。	5 5 7 略 8 要介護者の介護その他の世話をを行うため特別休暇をとろうとするときは、要介護者の状態等申出書及び要介護者に係る医師の診断書等の証明書を提出しなければならない。

改 正 案

現 行

第1号様式(第3条の3関係)

選 出 勘 定 結 果 書

選 出 効 効 確 認 書

第1号様式(第3条の3関係)

企画計画室長 氏名	請求年月日	年 月 日
企画計画室長 氏名	請求者 所属	年 月 日
あいかたなり(口子の蓋) 口頭介護者の介護)のため、選出勤務を請求します。		
1 お年寄り又は被介護者 氏名	生年月日	請求年月日
(被介護者の誕生日が記入された場合は、 <input type="checkbox"/> 印を記入)		
2 お年寄りの期間 年 月 日 から 年 月 日までの	年 月 日	年 月 日
3 お年寄りの期間 口月曜日 口火曜日 口水曜日 口木曜日 口金曜日	年 月 日	年 月 日
4 選出に係る選出勤務の時間 午前 時 分から午後 時 分まで	午前 時 分から午後 時 分まで	
5 備考		

(注) 1について
 (1)子を養育するために出張する場合において被介護者が出生前のときは、「全年月日」欄に出生予定期を記入し、印を記入すること。
 (2)被介護者を介護するために出張する場合においては、「口名」欄に、氏名及び被介護者を記入し、印を記入すること。

2について
 お年寄りを看取る必要がある場合は、午前午後にてに印を記入すること。

この欄は、子を養育するためには子の養育のため選出勤務の請求を必要とする理由等を、要介護者を説明するために請求する場合においては要介護者の状態及び介護の内容等を具体的に記載すること。

※ 用印記入欄

受取年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 決定	<input type="checkbox"/> 不承認
決済年月日	年 月 日		
決 済 業 庫		年 月 日	年 月 日

※ 用印記入欄

受理年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 決定	<input type="checkbox"/> 不承認
決済年月日	年 月 日		
決 済 業 庫		年 月 日	年 月 日

請求年月日	年 月 日
請求者 所属	年 月 日

請求年月日	年 月 日
請求者 所属	年 月 日

請求年月日	年 月 日
請求者 所属	年 月 日

改正案

第1号様式の2(第3条の3関係)

(表)

第 号	選出勤務承認証
所 職 氏 名	

上記の者は、奈良県教育委員会所属職員服務規程(昭和31年1月奈良県教育委員会教育長訓令甲第1号)第3条の3の規定により、(□子の養育 □要介護者の介護)のため下記のとおり選出勤務を承認した職員であることを証明する。

記

承認期間 の時間	年 月 日から 午前 時 分から午後 時 分まで	年 月 日まで
選出勤務 の時間	年 月 日	年 月 日

企画管理室長

(注) 用紙の大きさは、縦9センチメートル、横5.5センチメートルとする。

現行

第1号様式の2(第3条の3関係)

(表)

第 号	選出勤務承認証
所 職 氏 名	

上記の者は、奈良県教育委員会所属職員服務規程(昭和31年1月奈良県教育委員会教育長訓令甲第1号)第3条の3の規定により、(□子の養育 □要介護者の介護)のため下記のとおり選出勤務を承認した職員であることを証明する。

記

承認期間 の時間	年 月 日から 午前 時 分から午後 時 分まで	年 月 日まで
選出勤務 の時間	年 月 日	年 月 日

企画管理室長

(注) 用紙の大きさは、縦9センチメートル、横5.5センチメートルとする。

(裏) 路

(裏) 路

改 正 案

第1号様式の3(第3条の3関係)

選出勤務承認証失届・再交付願

企画管理室長 殿

年 月 日
届 出 所
職・氏名 _____

私は、下記の理由により、選出勤務承認証を
紛失しましたので、奈良県教育委員会所轄取扱
務規程第3条の3第6項の規定により届けるとともに、再交付を申請します。

記

理 由

現 行

第1号様式の3(第3条の3関係)

選出勤務承認証失届・再交付願

年 月 日

届 出 所
所 長
職・氏名 _____

私は、下記の理由により、選出勤務承認証を
紛失しましたので、奈良県教育委員会所轄取扱
務規程第3条の3第6項の規定により届けるとともに、再交付を申請します。

記

理 由

改正案

第1号様式の(第3条の3)別紙

差 治 状 況 等 変 更 届

年 月 日

企画管理室長 横
所 属 研・底多

奈良県教育委員会所長職員履用規則第3条の3第7項の規定により、次のとおり退出勤務に係る(口子の兼用)□要介護者の介護)状況の変更について届け出ます。

1 退出の理由

 子又は要介護者が死亡した

隊の子でなくった又は要介護者と隊員との親族関係が消滅した
 隊 児子扶助の取消し 女性暴行事件の終了
 児童福祉法第27条第1項の子の規定による指限の解消
 その他()

その他の理由により退出勤務をする必要がなくなった
 理由

申込を受けた期間を変更する必要が生じた
 理由

2 退出の実家の誕生日(先生予定日)
 年 月 日

現 行

第1号様式の4(第3条の3)別紙

差 治 状 況 等 変 更 届

年 月 日

企画管理室長 横
所 属 研・底多

奈良県教育委員会所長職員履用規則第3条の3第7項の規定により、次のとおり退出勤務に係る(口子の兼用)□要介護者の介護)状況の変更について届け出ます。

1 退出の理由

 子又は要介護者が死亡した

隊の子でなくった又は要介護者と隊員との親族関係が消滅した
 隊 児子扶助の取消し 女性暴行事件の終了
 児童福祉法第27条第1項の子の規定による指限の解消
 その他()

その他の理由により退出勤務をする必要がなくなった
 理由

申込を受けた期間を変更する必要が生じた
 理由

2 退出の実家の誕生日(先生予定日)
 年 月 日

案 正 改

行現

માર્ગ માનસ

告 售 情 況 証 檢 索 (年 月 分)

第三章

四

案 正 文

行現

第三部分 総論

（作成：1月1日から12月31日まで）

卷之三

四三

卷之三

政治小説研究(その2)(前編)

卷之三

四

卷之三

1

卷之三

100

卷之三

案 正 改

行現

नियमित वर्षानुसारी विद्युत उपलब्धि	विद्युत उपलब्धि	विद्युत उपलब्धि	विद्युत उपलब्धि	विद्युत उपलब्धि
१५	१५	१५	१५	१५
१५	१५	१५	१५	१५
१५	१५	१५	१५	१५
१५	१५	१५	१५	१५

正案

第1章 條件式別 (條件別の構成)

（年月日～年月日）

日 月 先 月 日 月 日 月

卷之三

日 月 先 月 日 月 日 月

卷之三

改 正 票

第4号様式の4(第8条の2関係)

代 休 日 指 定 曜

所 属

氏 名

1 勤務を命じた休日及び当該休日の全勤務時間

年 月 日
～
勤務時間数 時間 分

2 職員の意向「代休日の指定を希望しない旨を申し出ないこと」

本人確認

3 代休日及び当該代休日の正規の勤務時間

年 月 日
～
勤務時間数 時間 分

現 行		代 休 日 指 定 曜		
第4号様式の4(第8条の2関係)				
代 休 日 指 定 曜				
所 属	氏 名	代 休 日 指 定 曜		
1 勤務を命じた休日及び当該休日の全勤務時間				
<p>年 月 日 ～ 勤務時間数 時間 分</p>				
2 職員の意向「代休日の指定を希望しない旨を申し出ないこと」				
<table border="1"> <tr><td>本人確認</td></tr> <tr><td>_____</td></tr> </table>			本人確認	_____
本人確認				

3 代休日及び当該代休日の正規の勤務時間				
<p>年 月 日 ～ 勤務時間数 時間 分</p>				

正案

第三章 事件の発生

行員名	□米 □介 姓 名	□男 □女 性別	□常勤 □非常勤 雇用形態	□時給外取扱の取扱 □時給内取扱の取扱	□は夜勤扶養の取扱 □は日勤扶養の取扱
下記からおとり □年 □月 □日	□常勤 □非常勤 雇用形態	□常勤 □非常勤 雇用形態	□常勤 □非常勤 雇用形態	□常勤 □非常勤 雇用形態	□常勤 □非常勤 雇用形態
平 日 月 年	請託料日	請託料日	請託料日	請託料日	請託料日
を請求しま					

第4号様式の5(第8条の3関係)

（所轄地）		年月日	請求年月日
深長勤務・時間外勤務報酬請求書		西暦	西暦
下記のとおり		[口契賃] のため [口介護] のため [口時外勤務料] の割合 [口時外勤務料の割合 残業・休憩等に際する差額請求]	
		<input type="checkbox"/> 第2項 <input type="checkbox"/> 第3項 <input type="checkbox"/> 第5項 <input type="checkbox"/> 第6項	
を請求しま			

氏名				
姓 姓の由来等				
名 生年(西暦) 父母兄弟の名が生じた日(西暦)		年	月	日
		(印)出産予定日		
性別 男姓、女姓、姓の由来等				
既往歴 既往歴(既往症の有無)				
現状 現状の有無等 で当院での扱いで ある者か否か(現状 で当院へ)				
既往歴の持 続及び既往歴的 な介護の内容				
既往歴 既往歴の持続 時間		年	月	日から 日まで
		(印)毎月 □その他の □月		
既往歴の持 続及び既往歴的 な介護の内容				
既往歴 既往歴の持続 時間		年	月	日から 日まで
		(印)毎月 □その他の □月		

(6) ついて
① 〔生じた日〕欄は、子を養育するための精液の採取の現象のみ記入すること。なお、精液に係る子が精液の採取に出席しておらず、精液は「生じた日」欄に記載する旨を記入し、「出産予定日」欄に印を記入すること。
② 「精子採取の効果が生じた日」欄は、子を養育するための精液の採取の現象のみ記入すること。
③ 〔生じた日〕欄は、子を養育するための精液の採取の現象のみ記入すること。
④ 〔採卵において就来している〕欄は、「採卵における就来日」欄が月内に記入すること。
⑤ この欄は、精液採取の現象のみ記入すること。
⑥ 〔子を養育するための精液採取の現象のみ記入する旨〕欄には、当該精液に係る子が採卵時に記入する旨が記入され、出産予定期間の日を記載したとして算定すること。

发牌年月日	年	月	日	领执年月日	年	月	日
洪成洲							

受理年月日	年	月	日	决算年月日	年	月	日
决 算 报 表	清						

行現

深夜勤務・時間外勤務報酬請求書		請求年月日	年	月	日			
所属会社	監理							
下記のとおり <input type="checkbox"/> 口 素 音] <input type="checkbox"/> 口 介 喘] のたま 又は要介護者		□深夜勤務料の割増 □時間外勤務料の割増 標良の就活時間、休憩等に関する条項第3条の3 □前2项 □前3项 □前5项 □第6项						
職業に係る子 携帯等		生年月日	年	月	日			
(兼子供の能力が生じた日)					(口出直予定日)			
2) 標良の配偶者 当該子の親で ある者の有無及 び状況		□深夜において勤務している。 □口咳、痰が、身体上又は精神上の障害により差異が困難である。 □口前6週間(歩道駅出勤の場合にあっては1ヶ月間)又は直後6週間以内である。 □上記のいずれにも該当しない。 □無						
3) 要介護者の状 習及び具体的な 介護の内容								
4) 請求に係る期 限		深夜勤務 時間外勤務 料の期間	年	月	日から 日まで	□毎 日 □その他の □		
		□ 1年	□	□ 1年(年内満たない場合(　　)月)				
(注)について ①「生年月日」欄は、子を差育するための請求の場合は記入すること。 ただし、請求時に係る子が請求の場合は記入し、「出産予定日」の口にレ印を記入すること。 ②「精子採取の能力が生じた日」欄は、子を差育するための請求の場合は記入すること。 ③「出生していない場合には「生年月日」欄に山根洋子口記入し、「出産予定日」の口にレ印を記入すること。 ④「この欄は、子を差育するために深夜勤務の報酬を支する場合のみ記入すること。 ⑤「深夜において勤務している」とは、深夜における就業日数が1月に3日を超えること。 ⑥「この欄は、要介護者を介護するための請求の場合は記入すること。 ⑦「子を差育するための請求の場合は記入すること。 ⑧「この欄の3月31日以前の日の日を制限せず口として請求すること。 ⑨「子を差育するために深夜勤務の報酬を支する場合には、当請求時に係る子が満6歳以上である日以後の最初の3月31日以前の日の日を制限せず口として請求すること。」						深夜勤務記入欄		
受 理 年 月 日		年	月	日	決 算 年 月 日	年	月	日
決 算		報 告	調 清					

改 正 索

第1号様式の6(第8条の3関係)

被児又は介護の状況変更届		年 月 日届出
(所属長)	職	所 属 _____
		職・氏名 _____
<input type="checkbox"/> 深夜勤務の制限 <input type="checkbox"/> 時間外勤務の制限		
次のとおり <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 職員の勤務時間、休暇等に関する条例第9条の3 </div> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 口第2項 口第3項 口第6項 口第9項 は要介護者の介護の状況について変更が生じたので届け出ます。 </div> </div>		
に係る子の養育又 是要介護者の介護の状況について変更が生じたので届け出ます。		

届出の事由

- (1)養育の状況の変更
- 子が死亡した。
 - 職員の子でなくなった。
 - 関係 口 児童扶養手当の取消し 口 家事裁判事件の終了
 - 見守番法第27条第1項第3号の規定による看護の解除
 - その他の()
 - 子と同居しなくなった。
 - 父母の離婚で子の親であるものが資産において常態として当該子を執行できる者に該当することとなった。
- (2)介護の状況の変更
- 要介護者が死亡した。
 - 要介護者と職員との親族關係が消滅した。
(理由：)
 - 同居しなくなった。
- 2 届出の事実が発生した日
年 月 日

現 行

第1号様式の6(第8条の3関係)

被児又は介護の状況変更届		年 月 日届出
(所属長)	職	所 属 _____
		職・氏名 _____ 印
<input type="checkbox"/> 深夜勤務の制限 <input type="checkbox"/> 時間外勤務の制限		
次のとおり <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 職員の勤務時間、休暇等に関する条例第9条の3 </div> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 口第2項 口第3項 口第6項 口第9項 は要介護者の介護の状況について変更が生じたので届け出ます。 </div> </div>		
に係る子の養育又 是要介護者の介護の状況について変更が生じたので届け出ます。		

届出の事由

- (1)養育の状況の変更
- 子が死亡した。
 - 職員の子でなくなった。
 - 関係 口 児童扶養手当の取消し 口 家事裁判事件の終了
 - 児童扶養法第27条第1項第3号の規定による看護の解除
 - その他()
 - 子ど同居しなくなった。
 - 父母の離婚で子の親であるものが資産において常態として当該子を執行できる者に該当することとなった。
- (2)介護の状況の変更
- 要介護者が死亡した。
 - 要介護者と職員との親族關係が消滅した。
(理由：)
 - 同居しなくなった。
- 2 届出の事実が発生した日
年 月 日

正案改

三

年次行給作業簿
(個人名)

(1) 分量感の取扱は、年齢や給付額の違いのヤニにてて適用上うそびする場合において、一歩間未満の端改がいる場合のみとする。

第354集(1)(1993年1月)

450

年次有給休暇簿
(印) 横浜

（四）統計的分析結果、統計的推論、統計的應用等の分野。

正案

行現

340

三

案文正

24

卷之三

鹿島正義著「江戸の政治」

私達は心して如何に貴重な教訓を得たのである。

新編 金匱要略 卷之三

卷之三

…日暮里溝の端から、お母さんとお子さんたちが

第555種(54)(第30条関係)

10

(種名) 梅(学名) Prunus mume

三

卷之三

(卷之三) 生田國三王寺別院小經記

2 必要に応じて説明書類を添付すること

276 第二章 経済の発展と社会問題

中華書局影印
新編全蜀王集

三時[前]長崎の旅館があな娘君の手に下る。

THE JOURNAL OF CLIMATE

卷之三

33

1

正案

一

卷之三

1

行
環

案 正 改

行現

1

卷之三

13

卷之三

改正案

第6号様式(第9条関係)

欠勤届

私は、下記のとおり欠勤したいので、届けます。

年月日

級

所属
職氏名

記

1 期間 年月日から 年月日まで
 時 分から 時 分まで
 日間 時間

2 理由

現行

第6号様式(第9条関係)

欠勤届

私は、下記のとおり欠勤したいので、届けます。

年月日

級

所属
職氏名

記

1 期間 年月日から 年月日まで
 時 分から 時 分まで
 日間 時間

2 理由

<p>改 正 索</p> <p>第7号様式(第10条の2関係)</p>	<p>現 行</p> <p>第7号様式(第10条の2関係)</p>	<p>職務専念義務免除願</p> <p>私は、下記のとおり職務専念義務の免除を受けたいので、承認されるようお願いします。</p> <p>年 月 日</p> <p>殿</p> <p>所属 職氏名 _____</p> <p>記</p> <p>1 期間 年 月 日から 年 月 日まで 時 分から 時 分まで 日間 時間</p> <p>2 理由</p>

改正案

第8号様式(第10条の2関係)

職務外業務従事許可願

私は、下記により地方公務員法第38条第1項の規定により許可されるようお願いします。

年 月 日

殿

所 属
職氏名 _____

記

1 従事しようとする職務外業務の内容

2 従事しようとする理由

3 期間

4 報酬額

現行

第8号様式(第10条の2関係)

職務外業務従事許可願

私は、下記により地方公務員法第38条第1項の規定により許可されるようお願いします。

年 月 日

殿

所 属
職氏名 _____ 印

記

1 従事しようとする職務外業務の内容

2 従事しようとする理由

3 期間

4 報酬額

改正案

第10号様式(第11条関係)

事務引継ぎ書

本日下記のとおり事務引継をいたしました。

年月日

殿

所属

前任者職氏名

後任者職氏名

記

1 現に担任している事務の概要

2 引継時ににおける未済の事務及び緊急を要する事務

3 引継物品

4 その他必要事項

現行

第10号様式(第11条関係)

事務引継ぎ書

本日下記のとおり事務引継をいたしました。

年月日

殿

所属

前任者職氏名

後任者職氏名

記

- 1 現に担任している事務の概要
2 引継時ににおける未済の事務及び緊急を要する事務
3 引継物品
4 その他必要事項

案正改

卷之三

行 現

第16号様式(第21条関係)

